



墓地開基100周年を記念した植樹碑

1991年11月22日、当時の墓地管理委員会は日本人墓地が開基100周年を迎えたのを記念して、植樹式を開催し、コーラルツリー（デイゴ）を植樹しました。合わせて記念碑を建立し、碑詞を刻みました。碑詞は墓地管理委員の安川一夫氏、書は当時の中学校校長・角田佑造氏によるものです。

「ももとせの 時の覚えに 植うる樹に 異国の眠り 涼しくてあれ」



植樹碑

8月22日(月)の朝、シンガポール日本人学校中学部の田村校長先生をはじめ37名の先生方が日本人墓地公園をご訪問くださいました。

中学部の先生方には歴史友の会にも積極的にご参加いただいております。史蹟史料部もいつもお世話になっております。

御堂にて、からゆきさんのお話、墓地開基の歴史をご紹介した際には、熱心にメモを取ってくださる先生も多くいらっしゃいました。

中学部の生徒の皆様にも、長きに渡り墓地清掃のご協力をいただいております。感謝申し上げます。



歴史友の会リーダーの杉野氏が日本人墓地公園をご案内



墓地公園内にある美しい三丹花(サンタンカ)



ブーゲンビリアのアーチにて



記念に集合写真

編集・画像：日本人会 史蹟史料部 両頭真衣

参考文献：「シンガポール日本人社会百年史 - 星月夜の耀一」
シンガポール日本人会 2016年12月23日発行

墓地へのご寄付、誠に有難うございます。
ご厚志の程厚く御礼申し上げます。

寄付についての詳細はウェブサイトをご覧ください。
<https://www.jas.org.sg/pages/shisetsu-facility>

